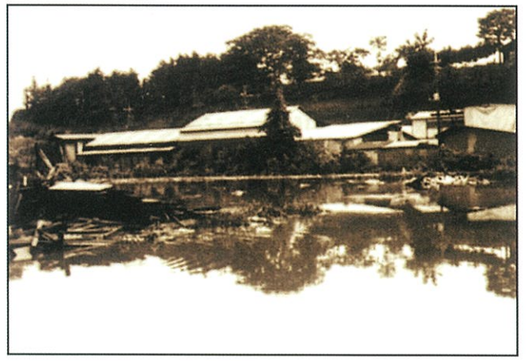
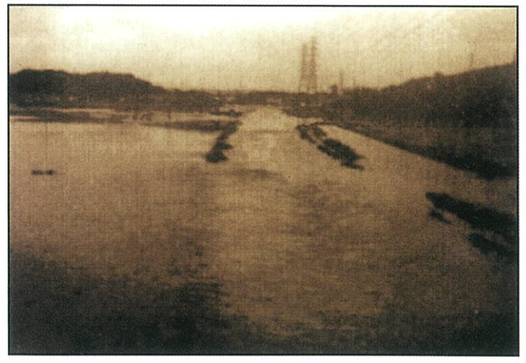
水害に強い地域をつくるため、総合治水事

引地川の水害

昭和41年6月28日　藤沢市高名橋上流付近

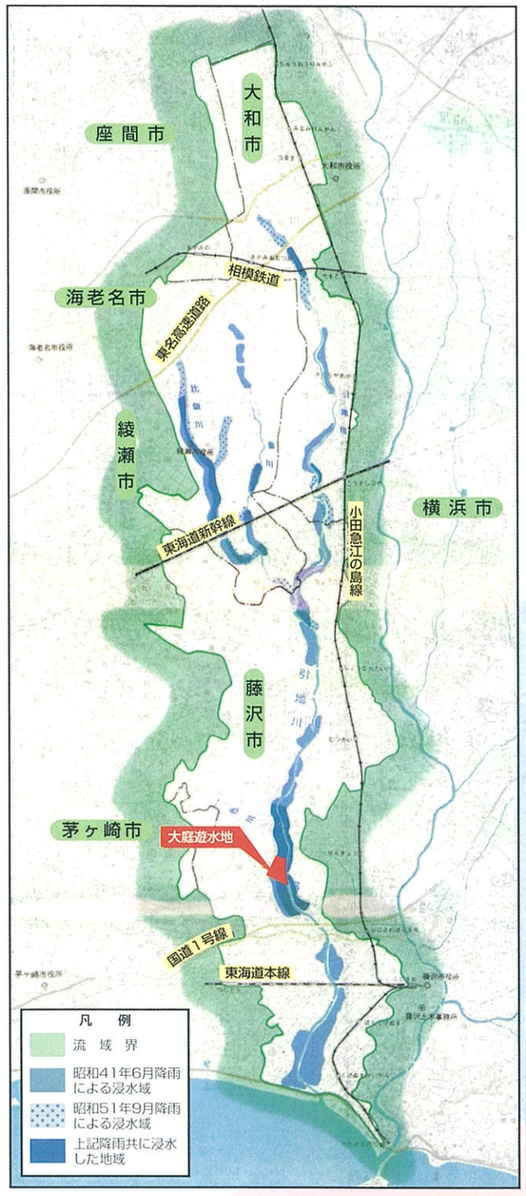


昭和51年9月9日　大和市東名高速付近



昭和56年10月22日　藤沢市小糸川合流点付近

引地川流域浸水実績図



引地川は、その源を大和水源地付近に発し、相模湾に注ぐ流域面積約67km²、流路延長約17kmの二級河川です。流域は、約90%が平地で残りが丘陵及び山地となっています。平地が多いことと東京、横浜に近いこともあって、昭和30年代以後産業と交通網の発達とともに、流域の開発と人口の集中が進んできました。

しかし、これらの開発に伴い、流域に降った雨は短時間に集中して河川に流れ込み、洪水による被害をたびたびひきおこしています。そこで、引地川は県内最重点河川の一つとして、早急に河道の改修、遊水地の整備などの治水施設の整備を進めています。

大庭遊水地の機能

大雨の時、遊水地は洪水を溜めて、水害から人々の暮らしを守ります。

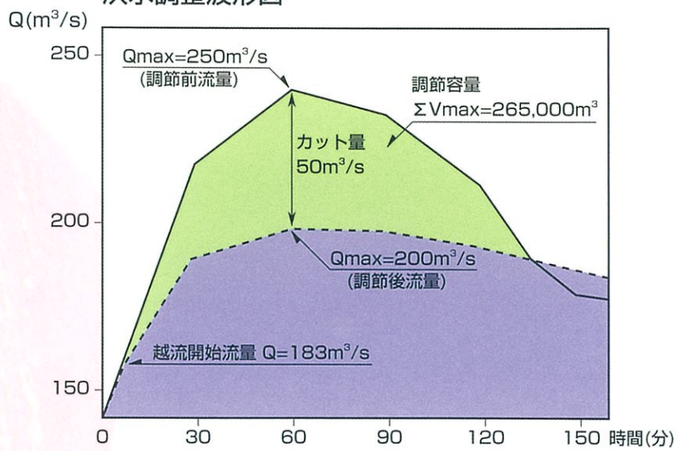
“遊水地”とは、河川堤防の一部区間を低くしておき、そこからあふれた洪水を溜め、地域への水害の被害を軽減させるためにつくられた池のことです。遊水地は普段、公園・スポーツ広場・緑地などに利用ができ、都市生活における人々の潤いの場としての活用もできるのが大きな利点です。

引地川の大庭遊水地は神奈川県の総合治水対策の一環として昭和58年から着手され、平成5年に治水機能が完成しました。

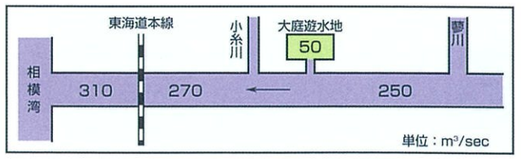
施設概要

位置	藤沢市大庭地内	
面積	11.5ha（湛水面積10.3ha）	
洪水調節量	50m³/sec	
貯水容量	284.000m³	
貯水池H.W.L	TP7.70m	
洪水調節方式	越流堤による自然越流方式	
遊水地施設		
越流堤	堤長	150m
周囲堤	堤頂高	T.P8.60m
	堤幅	4.0m
	法勾配	3割
自然排水樋管	1.50mX1.50m	

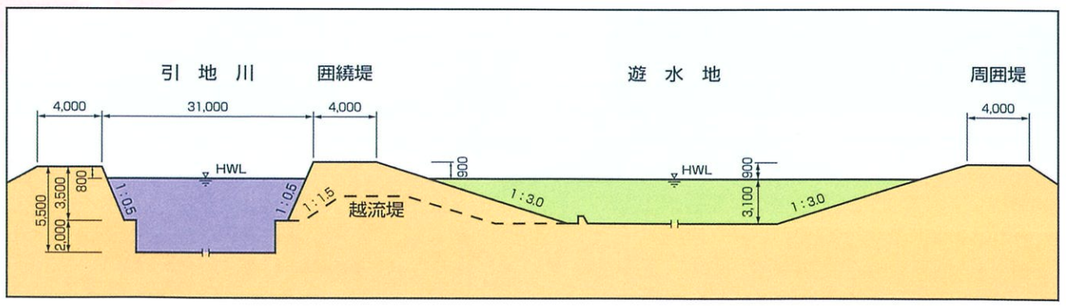
洪水調整波形図



引地川流量配分図

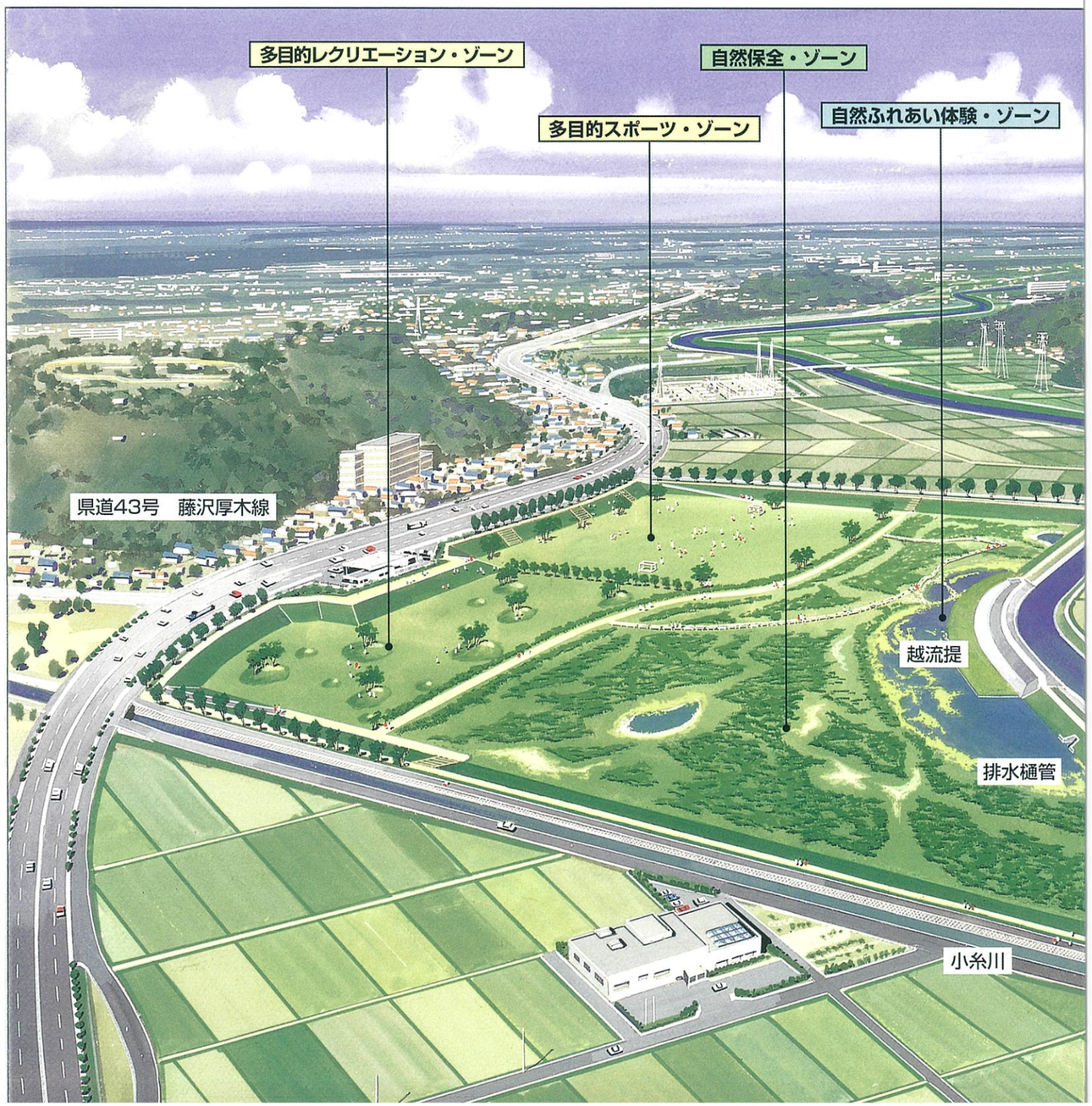


標準横断図

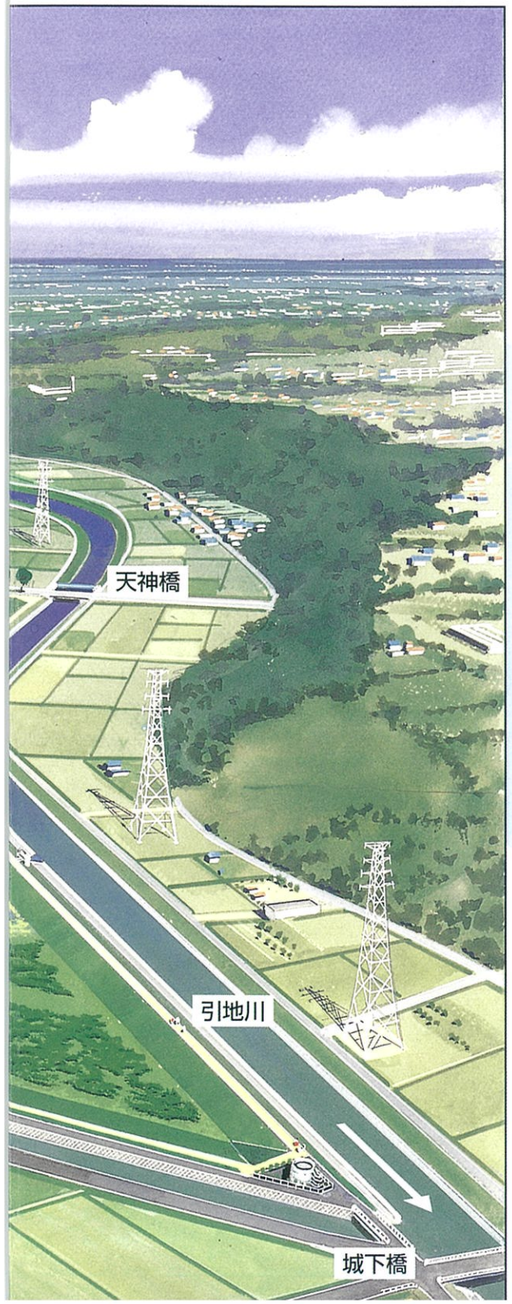


いつもの大庭遊水地には、楽しいこ

― みんなのスポーツ広場、自然

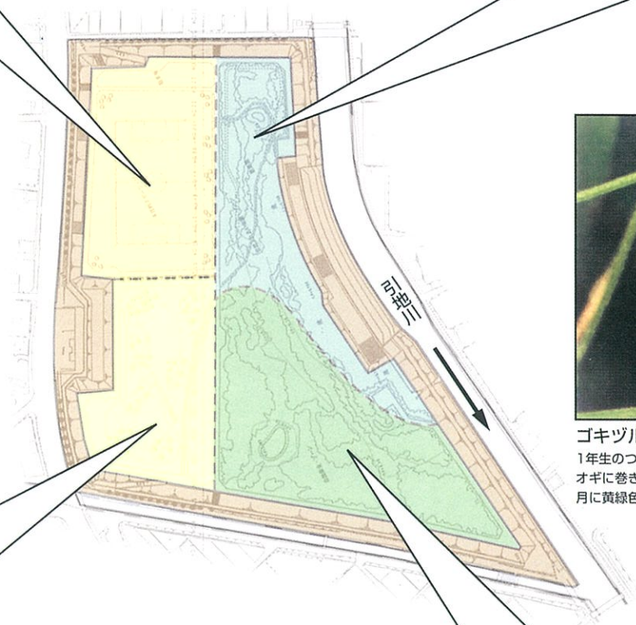


とが待っている
との出会いの場 ―



遊水地の利用

大庭遊水地の利用に関しては、その整備によって治水安全度を確保する目的の他にも、さまざまな利用目的を地域の皆様に提供します。



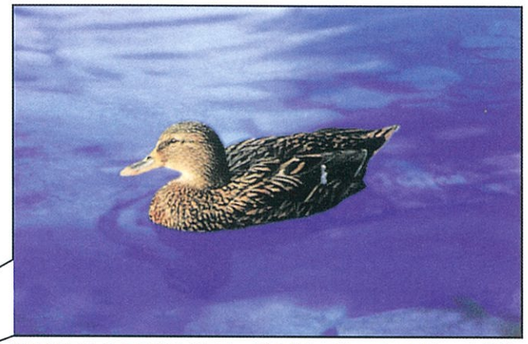
多目的スポーツ・ゾーン

人気のサッカー、ソフトボール、野球など、いろんなスポーツが自由にできる広場ができました。

多目的レクリエーション・ゾーン

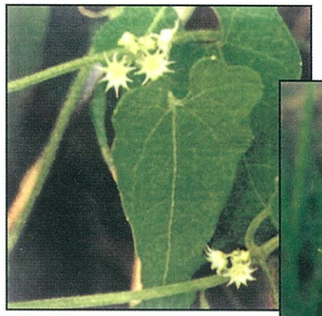
誰もがいつでも気軽にレクリエーションを楽しめる場として、野原のような芝生広場があります。

自然ふれあい体験・ゾーン



遊水地でみられる植物や昆虫、遊水地に飛んでくる野鳥。自然散策路を通って池のそばに近づいてみるといろいろな植物や生き物を観察することができます。

自然ふれあい体験ゾーンでは、今では少なくなってきた湿地の植物をみることができます。



ゴキヅル
1年生のつる植物。低湿地に生え、ヨシやオギに巻き付きながら成長します。8～10月に黄緑色の星のような花をつけます。

タコノアシ
高さ70cmほどの多年草。8～9月に茎の先端に花序を5～6個つけます。花序と花や果実のつきかたが蛸の足のようなので、この名前がつけられました。

「フィールド図鑑・草原の植物」P.70 ,71の写真より

自然保全・ゾーン

水辺や湿地は生き物たちの生活の場。遊水地を作る前の水辺の環境が自然のまま残っています。ここでは人間達はあまり生き物達の邪魔をしないよう、遠くから見守ってあげましょう。

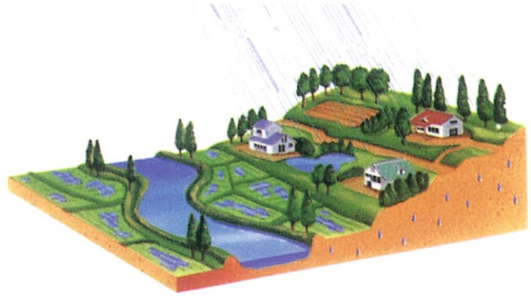
業の一環として大庭遊水地が生まれました

総合治水

流域の都市化が著しい河川では、従来流域が有していた保水・遊水機能が低下するとともに、人口・資産等の集中によりダメージポテンシャルが増大しています。

このような状況の中で治水安全度を高めるために、築堤や遊水地の建設などの河川改修を強力に進めるのはもちろんのこと、流域の保水・遊水機能を確保するための施設整備、水害に安全な土地利用や建築方式の誘導、洪水時の警戒避難体制の整備などとあわせた「総合治水対策」を、流域総合治水対策協議会の設置や流域整備計画の策定などを通じて、周辺環境の向上にも配慮しながら推進していきます。

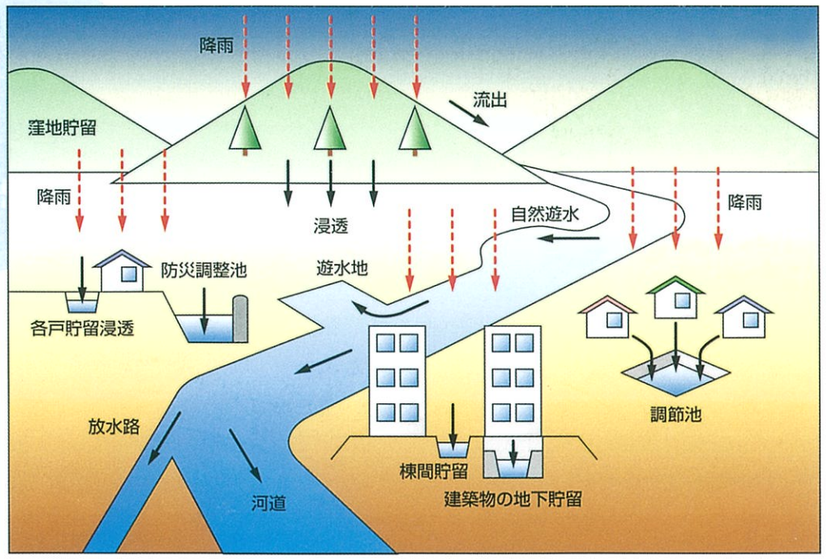
引地川においては、総合的な治水対策を推進するため、昭和55年11月に「引地川流域総合治水対策協議会」を設置し、昭和56年5月に「引地川流域整備計画」を策定し1時間当りの降雨量が50mmの雨にも安全なように、河川と流域が一体となって、積極的に整備を進めています。



●流域の開発が進む前
雨水の大半は地中に浸透したり、水田やため池に貯留され、下流への流出は抑えられます。

●流域の開発が進んだ後
地表がコンクリートやアスファルトで覆われたり、森林や水田・ため池がなくなることにより、下流への流出が増大し、低地部での氾濫被害が増大します。

●総合治水対策の概念図

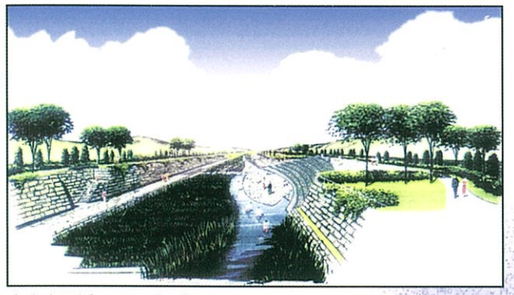


引地川に行ってみましょう

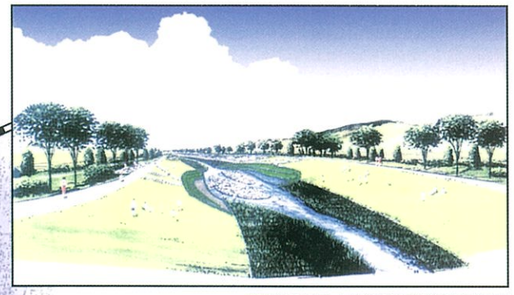
引地川では、周辺の環境や地域整備と調和した良好な水辺空間の形成を図る様々な取り組みを行っています。

ふるさとの川モデル事業

大庭遊水地の上流、天神橋～大庭鷹匠橋（旧北の谷橋）間を「みず・みち・みどりの基幹軸・引地川」の拠点（海までつづく水と緑のふるさとゾーン大庭）として、周辺の自然的環境と調和した整備を進めています。



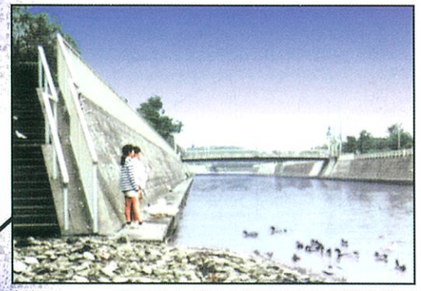
大庭鷹匠橋より下流を望む



天神橋から上流緩斜面護岸を望む

凡　例
- ふるさとの川モデル事業予定地
- 大庭遊水地
- 親水広場
- あひる護岸

あひる護岸



あひるなどの水辺の鳥たちが憩う場で、水鳥とともに水辺に親しめる空間です。

親水広場

噴水広場、階段護岸で水とじかに遊べる空間です。

神奈川県　藤沢土木事務所
藤沢市鵠沼石上2-7-1　〒251　電話0466-26-2111（代表）